

一般会計

一般会計等決算審査特別委員会では、平成19年度の決算内容について、さまざまな質疑がありました。

社会福祉協議会

Q 社会福祉協議会への運営費支援の内容は、どのような事業に支援しているのか。



▲福祉センター

A 人件費6人分4千340万円余り、事務費412万円余り、その他事業費等で2千万円余りである。事業の内容は、ボランティアセンター事業、ふれあいのまちづくり事業、在宅福祉サービス事業などである。

自然休暇村

Q 指定管理者を導入後、直営の時に利用者数はどう変わったか。

A 平成19年度は1万6千668人で、増加傾向にある。指定管理者が各種イベント、事業を展開し、市内の利用者の他に市外の利用者も取り込んだ結果ととらえている。

中小企業支援

Q 製造業営業力・生産力等強化支援委託料はどのような事業を委託しているのか。

A TAMA協会に委託をしている。平成19年度は7社について、生産管理のアドバイス等を行い、また、生産管理セミナーを今年2月4日に開催した。

樹林地管理ボランティア

Q 樹林地管理ボランティアの活動状況は、市はどのように関わっているのか。

A 地元町内会、事業者、環境に関心のある方など約20人の方により、平成19年度は22回の活動をしている。ボランティアであることから、市は支援する形を取っている。今後は活動のフィールドを確保すること、また、多くの方たちに参加していただくよう広く募集をかけていきたいと考えている。

ゆとりぎ

Q 生涯学習センターゆとりぎ市民協働組織助成金は予算に対し、大幅に少ないがその理由は。

A 予算は、芸術鑑賞、展示など部会への積算をもとにしてはいるが、情報誌「ゆとりぎ通信」「イベントガイド」を市民が編集するなど、市民の努力によって経費節減が図られたものである。



▲生涯学習センターゆとりぎ

特別会計等

Q&A

西口・土地購入

Q 土地の購入が6カ所、939㎡程度で少ないと思うが。

A 平成19年度については、若干少なかったかと考えているが、さまざまな情報をいただき、権利者と交渉しながら進めている。現在、12件、約2千28㎡ほど交渉しており、これが取得できれば先行取得用地として大変有益と考えている。

西口・補助金

Q 補助金の獲得にどのような努力をしたのか。

A 東京都の交付金対象地区のため、なかなか国費の補助が受けられない状況だったが、協議を重ねてきた結果、平成19年度から国費を導入することができた。

水道・収益確保

Q 今後どのように収益を確保していくか。

A 大口使用者の撤退、個人の使用量の減などにより、年々収益が減少しているが、収益確保のためには料金の回収を図ることが最も効果が大きいと考えている。平成19年度についても滞納整理を強化しており、収納率は0・69ポイントほど上がっている。今後も収納の確保を図っていくことで対応したい。



▲羽村駅西口駅前

平成19年度会計別決算状況

(単位：千円)

区分		予算現額	歳入決算額	収入率	歳出決算額	執行率	歳入歳出差引額
一般会計		19,323,469	19,306,016	99.9%	18,960,707	98.1%	345,309
特別会計	国民健康保険事業	5,325,379	5,200,027	97.6%	5,193,362	97.5%	6,665
	老人保健医療	2,769,670	2,671,611	96.5%	2,671,007	96.4%	604
	介護保険事業	2,130,755	2,124,189	99.7%	2,044,772	96.0%	79,417
	羽村駅西口土地区画整理事業	528,392	348,002	65.9%	290,884	55.1%	57,118
下水道事業		2,987,504	3,006,280	100.6%	2,963,770	99.2%	42,510
水道事業会計	収益的収入	1,068,098	1,069,529	100.1%			収益的収支 60,279
	収益的支出	1,026,070			1,009,250	98.4%	
	資本的収入	13,037	11,024	84.6%			資本的収支 △404,531
	資本的支出	421,354			415,555	98.6%	

※水道事業会計の資本的支出額に対し不足した資本的収入額は、過年度損益勘定留保資金などで補てんしています。

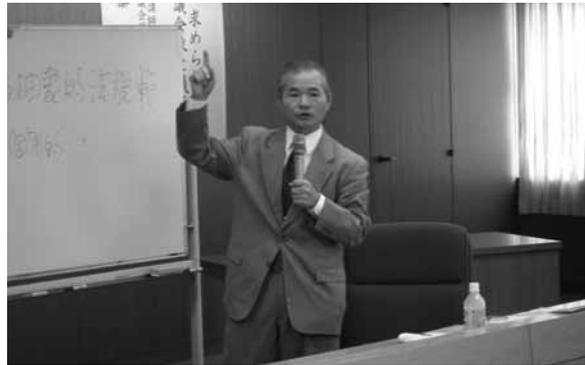
いま、求められる議会像と議員像

議員としての識見を深め、今後の議会活動に生かすことを目的に、8月1日に議員研修会を開催しました。

今回は、全国市議会議長会事務局に長年勤務され、退職後は専修大学講師、流通経済大学講師、日本経営協会専任講師として、地方議会についての教鞭をとられている元全国市議会議長会調査広報部長の加藤幸雄先生をお招きし、ご講演をいただきました。

<講演内容>

- 1 地方議会の制度と特色について
- 2 地方分権の推進について
- 3 分権時代に求められる議会像
 - (1) 議会の役割(条例の制定、行政の抑制・監視)
 - (2) 政策提案型議会、住民に分かりやすい議会
 - (3) 第2次議会改革
 - (4) 議会基本条例
- 4 分権時代に求められる議員像
 - (1) 議員の代表制
 - (2) 公務員、選良としての議員
 - (3) 政策通の議員



講師から以下のような議会像、議員像が望ましいとの提言がありました。

- 提出された議案に対して、Yes, Noを決めるだけでなく、内容が市民の実情と異なる場合には議会自ら議案を修正して可決することや、議員が市民のためになる政策等を自ら議案として作成し議会に提出するなどの積極性が求められていること。
- 議員は市民が主権者であり、議会は直接民主主義の代替機能を持っていることを認識すること。
- 議員は全体の奉仕者であり、先見性を持って総合的に判断することが求められていること。

議会に関する基本や現状を再確認するとともに、今後のあるべき姿を考えていく契機となり、今後の議会活動に向け、有意義な研修でした。



あなたも傍聴してみませんか？

次回の定例会は12月です

請願・陳情の提出は11月21日(金)までに
議会事務局へお願いします

12月定例会の予定

12月4日(木)	本会議
12月5日(金)	本会議
12月8日(月)	本会議
12月10日(水)	常任委員会
12月11日(木)	常任委員会
12月19日(金)	本会議

会期16日間

●●●● 行政視察報告会のお知らせ ●●●●

日時：12月12日（金）午後1時30分～4時30分（予定）

会場：コミュニティセンター ※当日直接会場へお越しください

市議会では、市政の発展に役立てることを目的に、先進地の行政視察を行っています。各常任委員会がそれぞれ担当分野について視察をしてきましたので、その調査・研究の成果を発表する報告会を行います。どなたでもご覧いただけます。多くの方のご来場をお待ちしております。

報告内容（予定）

◆厚生委員会

- ①「エコSUN山プロジェクト」、地域通貨「すまいる」への取り組み及びNPO法人との連携について…滋賀県野洲市
- ②公設民営化による病院改革について…新大江病院（京都府福知山市）
- ③発達障害支援策と発達障害者支援センターについて…発達障害者支援センター「かがやき」（京都府）

◆総務委員会

- ①小中一貫教育について…奈良市、三鷹市、足立区
- ②住民自治協議会について…三重県伊賀市

◆経済委員会

- ①浜松市の産業振興施策について…はままつ産業創造センター（静岡県浜松市）
- ②地元中小企業での支援策活用状況について…やまと興業株式会社（静岡県浜松市）
- ③浜松市の特定市民農園について…静岡県浜松市

はむらで見られる 野鳥



ジョウビタキ

毎年10月半ばに冬鳥として渡来します。渡来してすぐは、1,000kmもの長旅の疲れをものともせず、縄張り確保のために、夜明け前から夜遅くまでヒッヒッと盛んに鳴いています。河原や畑など開けた場所を好み、市街地の庭先にもやってきます。畑や庭を掘り起こしていると、土から出てくる虫をあてにして、すぐ近くの杭などに止まって待っているなど、人を恐れず、昔から親しまれている小鳥です。

編集後記

今年の夏は、猛暑の上に各地に集中豪雨による洪水や土砂災害と、自然の猛威の恐ろしさを感じさせられました。これも温暖化による異常気象のなせることなのでしょう。

さて、9月議会は前年度の決算審議が中心で、市税の伸びが見えない中、予算が適正に執行されたか、市民のために何を優先し、何をなすべきか活発な議論がされました。

一方、一般質問も16人の議員が質問に立ち、日程も1日延長されましたが、傍聴者が午前中のみ集中していたのは少し寂しい感じがしました。

12月には各常任委員会の視察報告会がありますので、ぜひお聞きになってください。

（中根記）

《編集委員》

瀧島 愛夫 山崎 陽一
鈴木 拓也 大塚あかね
西川美佐保 濱中 俊男
中根 康雄